

# 特別講演 子どものハローワーク「科学者への道」 ※生涯学習センターと共同開催

日時：令和6年2月25日（日）13：30～16：00

方法：オンライン 参加者：22名（育プロ卒講生,ジュニア生,科学部,一般参加者含む）

第1部 講師 株式会社 ispace CTO 氏家 亮先生

第2部 講師 千葉工業大学未来ロボット技術研究センター 研究員 松澤 孝明先生

QST 量子医科学研究所 物理工学部 研究員 増田 孝充先生

千葉大学ハドロン宇宙国際研究センター 特任研究員 小林 志鳳先生

## 第1部 特別講演会

株式会社 ispace の取組を紹介していただきながら、科学者をめざす若者たちへメッセージをいただきました。

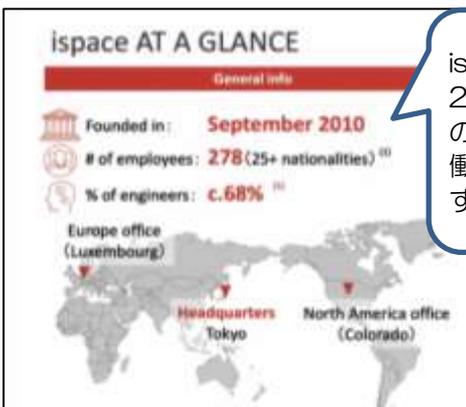


講師の氏家先生



月の水資源を開発し、月を人類の新たな拠点とすることを目指しています。

2040年代には1000人が住み、年間10000人が月を訪れるビジョンを掲げています。



ispace では25カ国以上の国籍の人が働いています。



ispace が開発しているランダー



ランダーがロケットから切り離され、安定した起動を確認する瞬間は最も緊張感があります。

安定した起動を達成した瞬間はコントロールセンターで抱き合って喜びました！

## Mission 1 のランダーが撮影した実際の映像



月着陸日のコントロールセンターのようす

## 氏家先生から受講生へのメッセージ

好きなことを精一杯やった結果、人に誇れるような、自分が納得できるような仕事を人生の中に残せたら幸せだと思います。科学や工学の分野は新しいトピックにあふれています。時にはやりたいことを修正しながら、その時に夢中になれることにとことん向き合って頑張ってください！

## 第2部 パネルディスカッション

第2部では千葉県内で活躍する若手研究者の方から「なぜ今の職業についたのか？」や「仕事のやりがい」などをお話していただきました。



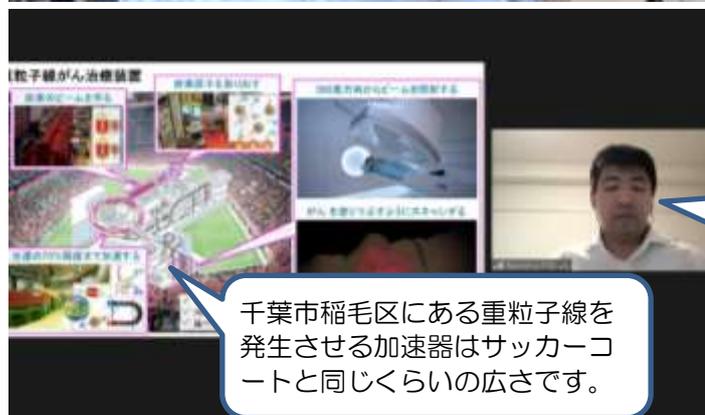
高速道路の橋などのインフラを点検するロボットを開発しています。

東日本大震災の際に発電所に入ったロボットを小型化したものです。



南極のアイスキューブニュートリノ観測所  
このプロジェクトには千葉大学が日本で唯一参加しています。

宇宙で起こる様々な現象を調べるため、南極の観測所でニュートリノを観測する実験を行っています。



千葉市稲毛区にある重粒子線を発生させる加速器はサッカーコートと同じくらいの広さです。

放射線を用いたがん治療の研究を行っています。5年後、10年後に多くの方々によりよい治療を提供できるように日々研究に取り組んでいます。

3名の先生方からは、具体的なアドバイスをたくさんいただきました

### 【受講生の感想】

- 昨年の ispace の月面着陸への挑戦はテレビのニュースを通じて知っていました。その ispace の技術責任者の方が、とてもわかりやすく、丁寧で親切に講義をしてくださったことに感動しました。ご自身のキャリアのお話しでも、悩んだことやコンプレックスなども経験しながら現在の姿があることを包み隠さずお話し下さり、非常に参考になりました。本当にありがとうございました。
- ispace の活動はネットニュースなどでよく目にしていて興味をもっていました。今日の講演では実際に携わった当事者の方から詳細やその時の気持ちなどを実際に聞くことができ本当によかったです。また、氏家先生のキャリアの話では、やりたいことに精一杯向き合った結果、今のキャリアに繋がったとい話に感動しました。自分も自分のやりたいことと向き合いながら頑張っていこうと思います。
- 第1部の ispace の氏家先生の話は 2040年に月に人を送り込むという話など SFの世界みたいなことが実際に企業の活動として計画が進んでいるというのが驚きでした。第2部の研究者の先生方の話は子供が聞いていて「苦手な勉強もいつかつながるといのを聞き、好きじゃない教科もがんばろうと思った。」という感想をもっていました。
- 先生方の話を聞いて、興味をもって何事にも取り組むことの大切さを学びました。苦手なことでも、どこかで役立つことがあると思って、前向きに取り組んでみたいです。ありがとうございました。
- 自分の興味のある分野の話が聞けてとても面白かったです。将来の夢で具体的に何をするかはまだ考えきれてませんが、いろいろなことに興味もち、挑戦していきたいです。